



～7月16日今小5年生稲の生育観察授業～
※詳細は8ページをご覧ください



p1 第19回 臨時総会開催

p6 畜産共進会開催（今金町・道南）



JA今金町公式YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！

今金町農業協同組合

「第19回臨時総会」開催



6月30日、JA今金町は同JA大會議室において第19回臨時総会を開催しました。書面議決174名を含む190名が出席、出席率は78%となりました。

審議された議案は「令和8年度固定資産の取得について」1つで、賛成多数で可決決定されました。

固定資産の取得は、馬鈴しょ施設の選果ライン更新や、倉庫の低温化改修を行うものです。A―選果システムの導入により選果能力の向上、共選施設の人員削減によるコスト低減、一次選別の省略による農業者の労働負担軽減を図ります。また、倉庫の低温化により品質を維持し販売価格の向上を図ることで、作付面積の拡大を目指すものです。

審議では、組合員から馬鈴しょの取り扱いについて1件の質問が出されました。

農繁期で忙しいなか、臨時総会にご出席ご協力いただいた組合員の皆様に感謝申し上げます。

△質疑応答△

Q. 馬鈴しょについて、現在の取り扱い数量と、今後労働人口が少なくなる中で将来の目標数量は。

A. 直近の数字はまとまっていないが、令和5年度の選果数量は9,408トン。将来の目標は原採種・食用を合計して363haを目標としている。



議長を務めた安藤拓也組合員



質問する津田博之組合員



議案採決の様子



閉会にあたり挨拶する仁木明副組合長

＜総組合員数及び出席組合員数＞

組合員種別	正組合員	准組合員	合計
総組合員数	242名	1,179名	1,421名
出席組合員数	190名	0名	190名
(本人出席)	(16名)		(16名)
(代理人出席)	(0名)		(0名)
(書面議決)	(174名)		(174名)

＜各議案の可決状況について＞

[議案第1号] 令和8年度 固定資産の取得について
(賛成188票、反対1票、棄権0票)

また、臨時総会終了後には組合員より別途ご発言があり、4月3日開催の通常総会で質問があった「下水処理の有機質肥料」について、改めて危険性が指摘されました。

JA系統では、有害物質が含まれる危険性や、成分の保証が難しいため、当該肥料は取り扱っておりません。

他社製品で当該肥料を使用する場合は、安全性を十分に確認いただくようお願いいたします。

種馬鈴しょ 防疫検査 全筆合格！

じゃがいも（馬鈴しょ）は、一般的には「種いも」と呼ばれる「種馬鈴しょ」を植え付けし、栽培する作物です。種いもは系統が正しく、ウィルス病や細菌病などの病気ににかかっていない健全で無病なものを利用し、生産を行っていくことが極めて重要です。このため、農林水産省では植物防疫法に基づいて種いもの検査を行っており、生産や流通の適正化に努めています。

防疫検査に合格し健全に育成された確かな種いもは、今金町の「今金男しゃく」ブランドを支える重要な要素となっています。

第1期防疫検査 6月18日



檜山振興局の防疫員により15筆を検査

＜結果＞

- ・ウィルス株 0/29,300株
- ・アブラムシ 0/150株

生育がこれから進むため第2期防疫検査に向けて引き続き管理するよう指導をいただきました。

第2期防疫検査 6月25日



横浜植物防疫所の植物検疫官により15筆を検査

＜結果＞

- ・ウィルス株 0/35,200株
- ・アブラムシ 0/150株
- ・植物検診 0/160株

①開花期になりウィルスがより見やすくなるため、見逃さないよう収穫まで徹底した管理をすること。

②男爵はジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種ではないので念入りにリスク回避をすること。

などの指導をいただきました。

第3期防疫検査 7月9日



横浜植物防疫所の植物検疫官により15筆を検査

＜結果＞

- ・ウィルス株 0/29,200株
- ・アブラムシ 1/150株
- ・植物検診 0/150株

これから徒長して倒伏してくると薬剤がかかりにくい可能性があるため、気を付けて適正に管理するよう指導をいただきました。

第4期自主検査 8月5日



普及センター・ホクレンなど関係機関により全筆を検査

＜結果＞

全筆合格
(ただしアブラムシの小・中程度の発生が数か所あり)

当代感染防止のためアブラムシ防除の徹底と、収穫までの管理について指導をいただきました。

理事会報告

第8回理事会（令和7年7月22日）

◆報告事項

1. 種子馬鈴薯第1期〜第3期防疫検査の結果について

2. 農畜産物の生育状況及び販売状況について

3. 盆期間中の業務について

4. 理事者への貸付実行報告について

5. 大口信用供与（5千万円超）理事会決定に係る経営状況の定期報告について

6. 第2四半期監査の実施について

7. 内部監査報告について

8. 内部監査受託に係る報告について

◆議決事項

議案第1号 令和5年産並びに令和6年産米穀本精算について

議案第2号 信用限度を超える貸付金の承認について

議案第3号 てん菜立会人の選任について

議案第4号 個人情報保護統括管理者の選任について

議案第5号 個人情報取扱規程の改正について

◆協議事項

1. 第19回臨時総会意見・要望について

生産者団体による品質向上の取り組み

6月26日 ミニトマト 現地研修会



普及センターの説明を受ける生産者の様子

今金町ミニトマト振興会は現地研修会を開催し、松山農業改良普及センター松山北部支所より現在の気象経過と今後の栽培管理について説明がありました。

今後も高温傾向が予想されるため、生育に適した温度を維持するための暑熱対策が紹介されました。また、病害虫防除では、昨年確認されたトマトキバガについて注意が促されました。

6月27日 軟白長ネギ 目揃え会



栽培ハウスを見学する生産者の様子

今金町軟白長ネギ振興会は目揃え会を開催し、これから本格化する出荷に向けて規格の確認などを行いました。

目揃え会には道内3つの市場担当者も参加し、市場動向や品質面の注意点などの情報提供を行いました。また、点滴の自動灌水装置を導入した栽培ハウスの見学を行いました。

6月27日 早出馬鈴薯 生育検査



抜き取りした株の根を観察する様子

今金町早出馬鈴薯振興会は生育検査を実施し、病害がなく健全に生育しているかを検査しました。検査内容は、ジャガイモシストセンチュウ確認のための抜き取り検査、ウイルスや黒あざの病株確認のための圃場内検査を行いました。

検査の結果、異常などは見られず健全に生育していることが確認されました。

6月30日 水稻直播 ほ場巡回



生産者が茎数を数える様子

今金町水稻直播研究会は町内ほ場巡回を実施し、湛水直播栽培と乾田直播栽培を行う町内 17 戸の生育調査を行いました。

調査は生産者や関係機関などが協力して行い、草丈、葉数、茎数、葉色 (SPAD) などを測定しました。

結果として、例年よりも生育が早く経過しており、慣行の移植栽培に近い生育となっているほ場も見られました。

生産者団体による品質向上の取り組み

7月1日 ブロッコリー 目揃え会



出荷規格について確認しあう生産者の様子

桧山北部広域ブロッコリー部会は目揃え会を行い、これから本格化する出荷に向けて規格の確認などを行いました。

販売担当者より出荷時の注意点が確認されたほか、桧山農業改良普及センター桧山北部支所より軟腐病や黒すす病などの防除について説明が行われました。

目揃え会後には現地研修会も行われました。

7月10日 秋馬鈴薯 生育検査



病株の確認をする畑作部会役員の様子

今金町畑作部会は秋馬鈴薯の生育検査を実施し、病害がなく健全に生育しているかを検査しました。検査内容は、ジャガイモシストセンチュウ確認のための抜き取り検査、ウイルスや黒あざの病株確認のための圃場内検査を行いました。

検査の結果、異常などは見られませんが、今後の高温により疫病が出やすくなるため注意が必要です。

7月2日 アスパラ 現地講習会



普及センターの説明を受ける生産者の様子

今金町アスパラ生産組合は現地講習会を開催し、桧山農業改良普及センター桧山北部支所より現在の気象経過と今後の栽培管理について説明がありました。

立茎方法や施肥体系の確認が行われたほか、病害虫として斑点病やジュウシホシクビナガハムシへの注意が促されました。また、秋の株刈り取りについても確認が行われました。

7月11日 水稻 ほ場異品種混入確認巡回



ほ場視察の様子

今金町稲作部会は生育管理状況並びにほ場異品種混入確認巡回を実施し、町内すべてのほ場を巡回しました。

この巡回は、生育状況を見るほか、収穫の際に複数の品種が混ざらないように、ほ場の植え付け状況を目視で確認するものです。

終了後にはほ場視察を行い、ドローンを用いた湛水直播栽培の生育状況を確認しました。



今金町麦作振興会 道内視察研修

日程：6月26日～27日

視察先：佐藤農場 春小麦ほ場（寿都町）

ホクレン農業協同組合連合会本所（札幌市）

～現在の小麦情勢についてなど

（株）北海道クボタ ビジターセンター（苫小牧市）

参加者：生産者8名



今金町稲作部会 道内視察研修

日程：6月30日～7月1日

視察先：新田農場 水稻ほ場（岩見沢市）

～栽培管理システム xarvio を活用した水稻ほ場の視察

ホクレン農業協同組合連合会本所（札幌市）

～米の情勢、展望、販売促進取り組みについて

参加者：生産者5名

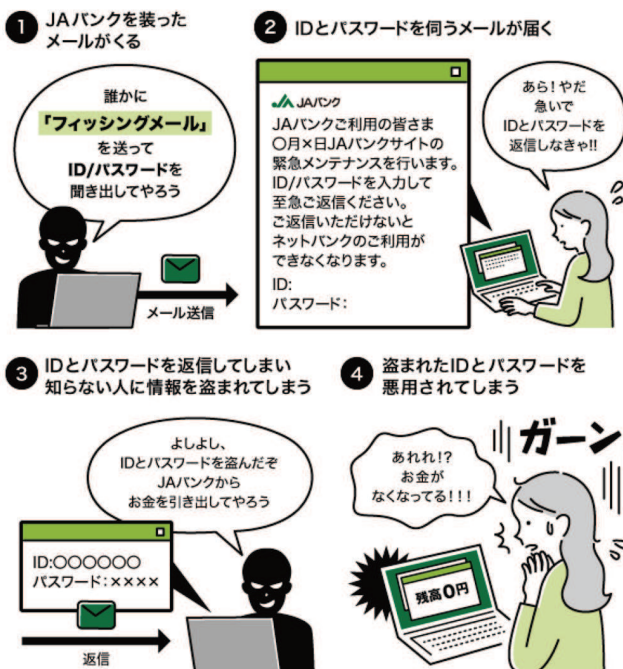
JAバンクを装ったフィッシングメール・サイトにご注意下さい！

JAバンク利用者を狙ったフィッシングメールが現在も継続して確認されており、当JAバンク利用者の元にも多数メールが送信されているものと思われます。

不審なメールと気付かずメール記載のURLにアクセスし、ログインID、パスワード等を不正に取得しようと誘導するケースが散見されます。

JAバンクでは、電子メールやネットバンクを経由しての確認依頼などは実施しておりませんので、皆様におかれましてはくれぐれもJAバンクを装った不正メールのURLには絶対にアクセスしないようご注意ください。

<< 偽メールに気をつけてください >>



<< 偽サイトに気をつけてください >>



第59回今金町畜産共進会 肉用牛の部



育成の成果競う 境田農産が最高位

7月4日に今金町内の共進会場で第59回今金町畜産共進会・黒毛和種の部が開催されました。6部門で24頭が出品され、日頃の育成の成果が競われました。

経産の最高位は㈱境田農産「てみこずえ」が受賞。未経産の最高位は㈱境田農産「ひろざくら」、準最高位は村瀬一人さん「みつひめ」が受賞しました。

各部門で選抜された牛11頭は、7月24日に八雲町で開催された道南畜産共進会に出場しました。

結果 (抜粋)

- ◎2部・母系群「1群」
1等 やよなつ (佐藤弘)
- ◎3部・繁殖雌牛群「1群」
1等 ききみつさ (佐藤弘)
ももみつ (佐藤弘)
つばめ (諸戸邦吉)
- ◎4部・経産「7頭」
1等 てみこずえ (境田農産)
- ◎5部・未経産「11」14ヶ月未「7頭」
1等 みつめ (村瀬一人)
- ◎6部・未経産「14」17ヶ月未「4頭」
1等 ひろざくら (境田農産)
- ◎7部・未経産「17」20ヶ月未「1頭」
1等 こはる (木島隆浩)
- ◎経産最高位 てみこずえ (境田農産)
- ◎未経産最高位 ひろざくら (境田農産)

第69回道南畜産共進会 肉用牛の部



今金町勢活躍！ 最高位も受賞

7月24日に八雲町内の共進会場で第69回道南畜産共進会・肉用牛の部が開催されました。今金町からは生産者4戸が7部門11頭を出品しました。

今金町勢は、5部門で優等賞を受賞し、全部門を通じての最高位は株式会社境田農産の「てみこずえ」が受賞しました。

8月29日から音更町において開催される第34回北海道肉用牛共進会には、今金町から5部門6頭を出品予定となっており、健闘が期待されます。

結果 (抜粋)

- ◎1部・父系群「1群」
優等賞 ひろこ (村瀬一人)
- ◎2部・繁殖雌牛群「1群」
優等賞 ひろざくら (境田農産)
- ◎3部・繁殖雌牛群「1群」
優等賞 ももみつ (佐藤弘)
てみこずえ (境田農産)
- ◎4部・経産「5頭」
優等賞 てみこずえ (境田農産)
- ◎5部・未経産「11」14ヶ月未「4頭」
優等賞 ひろこ (村瀬一人)
- ◎6部・未経産「14」17ヶ月未「2頭」
優等賞 ひろざくら (境田農産)
- ◎各部1等最高位
最高位 てみこずえ (境田農産)



道内視察研修

7月1日より2日間、JA今金町青年部は道内視察研修を実施し、部員7名が参加しました。今回の視察研修は、農業機械について理解を深めることを目的として開催されました。

日本ニューホランド(株)苫小牧デポビクターセンターでは、海外から輸入される機械や部品の取り扱いについて説明を受けました。輸入されたものは税関の管理対象となるため、手続きを終えるまで厳格に管理されているほか、トラクターは日本の安全基準を満たすために再度整備していることなどを学びました。農業機械も値上がりしていますが、輸送コスト増加や関税による影響も大きいことも分かりました。

このほかヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社のアグリソリューションセンターなどを視察し、有意義な視察研修となりました。



ニューホランドで大型作業機械を見る部員ら

JAようてい青年部との交流

7月8日、JA今金町青年部は町内でJAようてい青年部・京極支部の盟友と交流を行いました。今金からは6名、京極からは8名の部員が参加しました。

互いの活動紹介の場面では、部の行事参加率についてや、販売促進に向けた販売会開催についてなど質問が交わされました。

会場視察では、黒沢正雄部長の畑で3ヶ所をまわりました。作業行程や肥料・農薬の施用方法などを説明し、互いに収量・品質の向上に役立つ情報を求めて意見交換を行いました。

昼食での交流をはさみ、午後からはJA施設の見学を行いました。松山北部広域連施設をまわり、担当者から説明を受けました。見学の最後には、国道沿いに設置しているPR看板も見学し、高い出来栄えに関心を集めていました。



馬鈴薯ほ場で意見を交わす部員ら

飲酒運転根絶宣言

7月11日、今金町民センターで令和7年度「飲酒運転根絶の日」松山地区決起大会が開催され、JA今金町青年部・須田佑太副部長が代表で飲酒運転根絶宣言を行いました。

この決起大会は、北海道が「飲酒運転根絶の日」として定める7月13日に全道各地で行われている取り組みで、松山管内では持ち回りで開催しており、本年は今金町が開催地となりました。

7月13日は平成26年に小樽市銭函おたるドリームビーチ近くで飲酒ひき逃げ死亡事故が起きた日です。平成27年6月には砂川市でも飲酒ひき逃げ死亡事故が起きており、飲酒運転による悲惨な交通事故を無くそうと、平成27年11月に「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が制定されています。

「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を皆で徹底しましょう。



飲酒運転根絶宣言を行う須田佑太副部長



女性部総会

7月22日、JA今金町女性部は道内視察研修を実施し、美瑛町方面を視察しました。部員のほか員外も含めて17名が参加しました。

ファーム富田(中富良野町)では、ラベンダーを主として様々な種類の花が絨毯のように咲き誇る美しい景色を楽しみました。ラベンダーにも多くの品種があり、早いものだと見頃を過ぎたものもありました。

四季彩の丘(美瑛町)では、トラクターバスに乗車して園内をめぐり、色とりどりの花畑を鑑賞しました。また、「白金青い池」にも立ち寄り景色を楽しみました。

視察当日は上富良野町で最高気温31℃と暑く、体調管理に注意が必要でした。朝6時に出発し夜22時に帰着する長時間の行程となりましたが、部員らは疲れを見せず、充実した視察になりました。



昼食会場で集合写真

今金小学校5年生 お米の生育について学ぶ

今金小学校は7月16日、学校の総合学習の一環として、町内の水田で稲の生育状況を観察しました。この授業はJA今金町の協力により行い、同校5年生20人が参加しました。

児童らは5月に田植え体験を行っており、今回はその後の稲の生長を自分の目で確かめながら、稲の状態を細かく観察。班ごとに分かれ、葉や穂の長さを測ったり、分けつ数やモミ数を数え記録しました。茎を慎重にカッターで切り、出穂前の状態も観察しました。

また、玄米センターの施設も見学し、収穫後のお米がどのように調整・保管されるのかをJA職員から説明を受けながら熱心に見学しました。参加した児童は「田植えをしてから2ヶ月でこんなに大きくなるなんてびっくりした。今から稲刈りも楽しみ。」と話していました。

授業を終え藤田倫史販売課長は「児童から備蓄米について質問されるなど関心の高さが伺えた。主食であるお米の生産について少しでも理解が広がることを願いたい。」と感想を語りました。



モミの数を熱心に数える児童らの様子



玄米センターのラック式倉庫を見学する児童らの様子

地元の魅力召し上がり 桧山北高生がクレープ販売

7月20日より2日間、せたな町三本杉海水浴場で北海道桧山北高等学校3年生の生徒らが地元産品をふんだんに使用したクレープの販売を行いました。

この販売企画は、同校の授業「総合的な探究の時間」で地元を盛り上げることをテーマに発案されたものの1つ。岡本凛菜さん、吉本紗菜さん、長内寿里さん、蓬田真奈さんの4名が企画から販売の運営までを行いました。この企画は、販売店として(株)瀬棚物産（マリンショップみすぎ）、地元産品の提供はJA今金町が協力して取り組まれました。

生徒らは、人口減少とともに同校生徒数が減少していることを課題と捉え、地域や同校のアピールにつながる方法がないか思索。まずは子供たちに地域の魅力に気づいてもらうことを狙いに、子供の好きそうなスイーツとしてクレープの販売を考案しました。

商品は、地元産品のアスパラガスや豚肉をミニトマトで作ったオリジナルトマトソースで味付けた「おかずクレープ」、同校で栽培・加工したブルーベリージャムを使った「ブルーベリークレープ」など。地元産品をふんだんに使用し、地域の美しい魅力が詰まった商品です。

20日の販売を担当した岡本さんと吉本さんは「学校で調理を練習したが実際に販売するのは大変。地元の魅力を少しでも発信できれば嬉しい。」と話しました。今後、クレープの販売は同店で8月3・9・10日にも行われる予定となっています。



おかずクレープを持つ岡本さん（左）とブルーベリークレープを持つ吉本さん（右）



販売店（瀬棚物産）とのコラボメニューとして販売

もぎたて市&いまかね減塩大作戦コラボ企画 ベジタブルのちょこっといい話



毎年、恒例のもぎたて市にはたくさんの野菜が並んでおり、新鮮で安くて美味しく栄養も豊富！そんな、もぎたて市の野菜をぜひ食べて下さい♪引き続き「ベジタブルのちょこっといい話」を、お届けいたします。今月は『きゅうり』を紹介します。皆さまの参考になれば幸いです！

きゅうりのプロフィール

【分類】ウリ科キュウリ属

【原産地】インド

【おいしいカレンダー】5月～8月ころ

【主な栄養成分】カリウム、ビタミンCなど

◆生産量トップ3◆

1位：宮城県🍌

2位：群馬県🍌

3位：埼玉県🍌

令和6年産 第1報

夏が旬の食材には、夏の体が必要とする栄養素を含むものが多くあり、汗で失われる水分や塩分、ミネラルを、夏野菜を使った料理を食べることで不足を補えますぞ！

まだまだ暑い日が続く夏を、食事をしっかりと食べて乗り切ってくださいぞ！



◆保存方法◆

乾燥と低温が苦手なので、早めに食べきるのが基本ですが、保存する場合には、ビニール袋に入れて野菜室で保存しましょう。

◆調理のコツ◆

太さが均一で、切り口がみずみずしいもの。持ってみて、ずしりと重みがあり、色つやのよいものを選びましょう。イボのある品種の場合は、イボがチクチクするくらい尖っているものが新鮮です。

板ずりは、きゅうりに塩をふり、まな板の上で転がすことで、皮に傷がつき、傷と塩の効果で生じる浸透圧の変化により水分が2～3割抜け、やわらかくなります。また、色が鮮やかで、味がしみこみやすくなります。

今回ご紹介するレシピは、火を使わず調理できます。もう1品のおかずにも迷ったとき、簡単に準備することができるのでおすすめです。サラダチキンがない場合は、電子レンジで加熱調理した鶏むね肉にしょう油の味付けにしても、おいしく頂けます。

◆きゅうりのチカラ◆

成分の約95%が水分で、ほかのウリ科（ズッキーニやかぼちゃ、ゴーヤなど）の野菜と同様にビタミンC、カロテン、カリウムなどを含みます。カリウムが比較的多く含まれています。カリウムには利尿作用があるので、むくみの改善や血圧を正常に保つ効果が期待できます。

ぬか漬けにすると、ビタミンB1が増加し、乳酸菌の働きも加わるので、疲労回復の助けにもなります。また、浅漬けなら栄養成分を損なわずに楽しめます。

♪レシピ『きゅうりとサラダチキンの中華和え』♪

【材料（2人分）】

☆きゅうり	1本	★長ねぎ（白い部分）	5cm
☆サラダチキン	100g	★生姜	1かけ
★ごま油	大さじ1	★ラー油	お好み
★酢	大さじ1	★白ごま	適量
★砂糖	小さじ1		

【作り方】

1. 下ごしらえ

きゅうり：千切り

サラダチキン：食べやすい大きさ（薄切り）

長ねぎ：みじん切り

生姜：みじん切り

2. 下ごしらえをしたきゅうりとサラダチキンをボウルに入れ、薬味の長ねぎ、生姜、調味料のごま油、酢、砂糖を加えて混ぜ合わせます。お好みでラー油を加えます。

3. 器に盛り付け白ごまをふりかけて完成です。

≪1人分あたり 188kcal、たんぱく質 17.7g、脂質 15.0g、炭水化物 5.5g、食物繊維 1.4g、塩分 0.9g≫



食品成分表（可食部 100gあたり）

エネルギー	13kcal
水分	95.4g
たんぱく質	1.0g
炭水化物	3.0g
無機質	カリウム 200mg
	カルシウム 26mg
	マグネシウム 15mg
	リン 36mg
	鉄 0.3mg
	マンガン 0.07mg
ビタミン	B1 0.03mg
	B2 0.03mg
	葉酸 25μg
	C 14mg
食物繊維	1.1g